

Ⅲ 埼玉ではどんな治山事業を実施していますか？

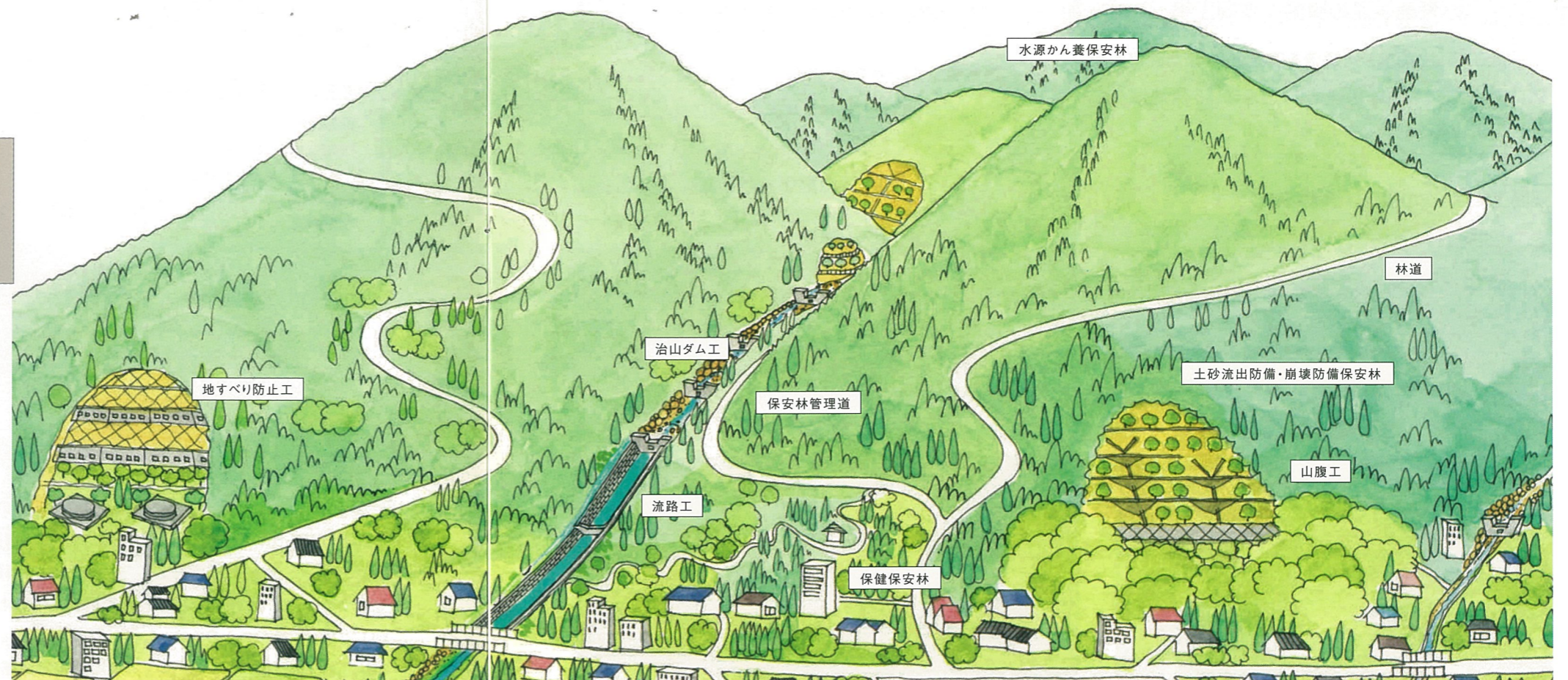
A. 「山地災害から暮らしを守る」ため

次のような事業を行っています。



崩壊地に比べ健全な森林では土砂の流出が、150分の1といわれています。また、森林はその根の広がりによって、山地をしっかり押さえています。

今日、人口増加、都市化の進展に伴い、人々の生活空間は市街地から中山間地域へと広がりつつあります。県民の生命と貴重な財産を山地災害から守るためには、山地の保全と森林の育成は欠かせません。このため、治山事業では、山地災害危険地（P19）等の調査をもとに計画的に治山施設の整備や災害防止機能の高い森林の整備育成を行っています。



① 荒廃した森林を復元する治山事業

山腹の崩壊地、侵食や土砂の堆積が進行している荒廃溪流、荒廃のきざしがある山地に対し治山施設を整備し、森林の維持・造成をすることにより山地災害の防止・軽減を図ります。治山施設には溪流・山腹において、それぞれの地形に適した工種・工法を用いて整備しています。

■ 荒廃溪流の復旧



復旧前



復旧後

■ 山腹崩壊地の復旧



災害後



復旧直後



復旧12年後

② 荒廃渓流の整備：溪間工事

溪間工事は、荒廃した渓流を安定させ、また荒廃を未然に防止して、森林を保全するとともに、下流地域への土砂の流出等を防止します。

溪間工には、次のような種類があります。

治山ダム工

溪床を安定させ、溪岸の侵食・山腹の崩壊を防止するほか、溪床に堆積している不安定な土砂の下流への流出を防ぐ施設です。 谷止工、床固工

護岸工

溪岸の侵食を防止し、山腹崩壊の防止を目的とした施設です。



谷止工(名栗村)



床固工(名栗村)



床固工と護岸工を組合せた流路工(吉田町)

③ 山腹崩壊地の整備：山腹工事

山腹工事は、大雨や渓流の流水による侵食によって崩壊した山の斜面を森林に復旧します。また、山腹斜面の落石を防ぎ、生活の安全を守ります。

山腹工には、次のような種類があります。

山腹基礎工

崩壊斜面を安定させます。
土留工、法切工、水路工、暗渠工、アンカー工、法枠工 etc.

山腹緑化工

崩壊斜面を緑化し、早期に森林の回復を図ります。
柵工、筋工、実播工、種子吹付工、伏工、植栽工 etc.

落石防止工

落石による被害を防ぎ、生活の安全を守ります。
落石予防工、落石防護工 etc.



筋工と植栽工・伏工の組合せの例(児玉町)



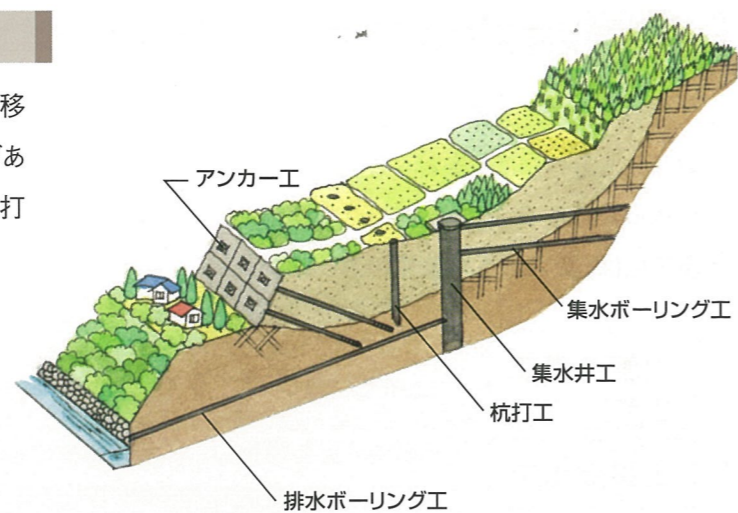
落石防護工(両神村)



法枠工と土留工、柵工、植栽工等の組合せの例(名栗村)

④ 地すべりの防止による山地の保全

地すべりは、地質・地下水等の条件によって山体が移動する現象です。地すべりの発生地およびその恐れがある地域を「地すべり防止区域」に指定し、排水工や杭打工等を実施して災害の防止・軽減を図っています。



地すべり防止工事には、次の種類があります。

抑制工

地すべりの原因をとり除きます。
集・排水ボーリング工、集水井、流路工、水路工 etc.

抑止工

地すべりを直接抑えます。
杭打工、シャフト工、アンカー工 etc.



集水井 (皆野町)



杭打工 (秩父市)



アンカー工 (児玉町)

⑤ 自然環境に配慮した施設づくり

自然環境に優れた場所、レクリエーションの場などでの治山施設の設置において、は周辺環境に配慮し、自然石や間伐材、化粧型枠などを利用した自然と調和した工法を採用しています。



自然石や木材を利用した流路工 (神川町)



間伐材を利用した治山ダム (横瀬町)



化粧型枠を利用した治山ダム (飯能市)



間伐材を利用した土留工 (名栗村)